

日時：平成30年7月17日（火）20：00～

場所：ふれあい歯科ごとう

出席者（敬称略）：五島、豊田、矢作、澤村、円谷、齊藤

研究計画書、臨床研究計画コンセプトシート、一般研究倫理審査申請書について説明。

社会的に意義のあるもの、ナレッジとして提供できるものにするために。

この過程でマニュアルを作る、啓発できるものをつくる、を目的に。手順の形はほぼできているので日本語を整理する。

処方情報が欲しいので、200は欲しいところ。解析をどうするか。

#### 研究の目的及び意義

アンケートを利用した一次アウトカム（腔乾燥と栄養状態）（これらの状況と処方内容）、高齢者の口腔乾燥症が多い（疫学上で）、その中には薬剤性のもの（これあるのか）もあるよね。でも見逃されがちだよね。低栄養になっている可能性もある。食事摂取、食事量に影響を及ぼしそうな食事形態に注目した。

薬による口腔乾燥が食事に影響している場合、薬局のカウンターはそれに早く気づくことができる可能性がある。薬剤師が口腔乾燥に意識をもつことが必要。

薬局で気軽に相談できる。

薬剤師のできることとしては、処方の内容を確認することによって、口腔乾燥の発現頻度が低い薬剤などに変更の提案をすること。

これから介入するきっかけ。薬局の役割、薬剤師のふるまいが変わるきっかけになるように。国外の口腔乾燥が食事摂取に影響するだろう。

まず、口腔乾燥がどれほど食事に（生活に）影響を与えているのか

高齢者の口腔乾燥症が多い（疫学上で）、その中には薬剤性の口腔乾燥も（これあるのか）もあるよね。でも見逃され、放置されていることは多い？薬剤性の口腔乾燥が原因で食形態に偏りが出ているとしたら、また食事摂取量に影響しているとしたら低栄養になっている可能性もある。

薬剤の専門家である薬剤師が口腔乾燥に意識をもち早期に気づき、薬局で気軽に相談できることで救われる方は多いと思われる。処方の内容を確認することによって、発現頻度が低い薬剤などに変更の提案をすることにつなげたい。

…日本語にならない：共同作業で文章と整えていきましょう。

#### 研究計画書1～9まで、特に4. 研究の方法及び期間

アンケートの傾向分析

次回、この会「齊坊主ウイング（仮）」8月28日（火）20：00～

→9月4日（火）20：00～